

講義名	研究演習		
講義コード	15069	授業形態	
担当教員	西井 和夫		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
単年度ゼミ（地域まちづくり・交通・観光・エリアのマーケティング・エリアのマネジメント）

学部
経済学部 商学部 人間社会学部

学科
経済学部経済学科 経済情報学科

演習名
単年度ゼミ（地域まちづくり・交通・観光 他）

概要説明
<p>都市・交通・観光やその課題を中心に、経済社会の諸問題への学術的な好奇心や関心「心」を持ち、地域社会の実態・現象を把握し課題解決に向けて、観察・分析能力・マーケティングやマネジメント技法などの「技」を磨き上げ、最終的に、より良い地域社会構築に参画し、また積極的に活躍できる意欲(自信)・元気の持続力「体」を習得します。</p> <p>今期は、コロナ感染拡大防止の観点から、後期授業が通常の対面方式でできない場合を想定し、基本的には前期と同様にonline授業（live授業か課題学修かのいずれかの混合型）でゼミを進めていきます。</p> <p>また、いわゆる過年度生対応なので、また全学部の学生を対象としていますので、地域・交通・観光をキーワードにして、幅広いトピックスおよびwithコロナの経済社会に関わる諸課題といった諸テーマを取り上げ、資料文献調査・課題レポート作成・プレゼン・ディスカッションなどを通じて積極的にゼミに参加できるように考えています。したがって、基本的には、ゼミへの出席がminimum-requirementになります。</p>

学位
工学博士（京都大学）

教員よりの要望
<p>明朗快活（明るく元気で）、ヤル気がある（意欲的に）、ゼミに積極的に参画できる学生であって欲しい。</p>

教員英字氏名
KAZUO NISHII
研究室
Rm 2609（教授室）
最終学歴
1976.3 京都大学工学部交通土木工学科 卒業（工学十）

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>所属学会での研究論文発表・学会セッションのオーガナイザー 国・高速道路会社・府県・市町における研究員会や審議会委員としての参画 自らが主宰する研究会（地域まちづくりと経済学研究会、AIMA研究会）の活動（セミナー等） 最近の研究業績： 国際会議での研究発表(ERSA(欧州地域科学会議)19'18'17'16'14'13'09')、IATBR15'、ITS国際会議18'15' 国際セミナー主催および研究発表（観光・都市交通政策に関する中日セミナー19'まで10回） 所属学会での研究論文発表および論文集への投稿発刊 多数</p>

主な卒業論文のタイトル

<p>2016年度： 西宮市の地域活性化と地域資源としての甲子園球場 人口減少下の西宮市の地域再生に関する考察</p> <p>2015年度： バスケットボールのプロリーグ化の諸問題に関する考察 世界遺産「姫路城」と地域振興策を考える</p> <p>2014年度： 西宮市における交通事故発生状況と今後の交通安全対策 高速道路の休憩施設の利活用促進策：NEXCO西日本山陽道を例として</p> <p>2013年度： 高速道路のサービスエリアの利用状況調査とその分析 地域資源を活かした地域活性化の基礎分析：三木市を例として</p>
--

趣味・特技
<p>ゴルフ（と言いたいが、今年は一度もクラブを持っていない、道具がカビ臭い）</p>

所属

所属学会
<p>土木学会 交通工学研究会 日本都市計画学会 日本観光研究学会</p>

専門分野
<p>地域まちづくり関連分野：都市計画、地域計画、PI、公共政策 交通関連分野：交通工学、交通計画、都市交通政策、交通行動分析 観光関連分野：観光まちづくり、観光マーケティング、エリア・マネジメント</p>

選考方法
なし

担当科目
<p>前期：都市・地域計画、統計データ解析、地域まちづくり特別研究I、専門基礎演習、経済学科への誘いⅠ(1/15) 後期：地域再生論(1/2)、公共政策論、地域観光政策、都市情報解析(1/2)、地域防災論、研究演習I（単年度ゼミ）</p>

備考

評価方法
<p>研究演習の評価は、平常点で評価する。平常点は、ゼミでの課題演習・プレゼン・ディスカッション・など、すべてのゼミへの取り組み（出席状況を含め）から評価する。</p>

実務経験の有無及び活用
なし